

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	340	講師派遣等
旅費	127	講師派遣等
需用費	4	委員会お茶代
役務費	4	郵送料
使用料	13	委員会会場借り上げ代
合計	488	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次教育ビジョン

基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり

目標27 子どもたちの安全・安心の確保と危機管理体制の充実

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 各学校において対応が必要な児童生徒については、令和5年度までに学校生活管理指導表の活用率を100%にする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H28)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
						—%
① 食物アレルギー対応の必要な児童生徒の学校生活管理指導表使用している割合	46.2	調査中止 (参考) R1年度 60.9	70	80	100	—%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・本県のアレルギー対応における課題とその解決に向けた協議（食物アレルギー対策委員会） ・市町村教育委員会等の食物アレルギー研修会への専門医の派遣
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	アドレナリン自己注射薬を処方される児童生徒は年々増加していることから、児童生徒が安心して学校生活を送る上で、命に関わる重要な事業である。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	令和2年度の調査はコロナの影響により中止となったが、事業開始前と比べ、活用率は年々向上している。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	岐阜県医師会との連携により、最新の知見や救急搬送事案をもとにした研修会を開催し、教職員の資質向上に資することができている。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>日本学校保健会の学校生活管理指導表の様式が改訂されたことを受け、令和3年度に岐阜県版の学校生活管理指導表を作成した。今後はその様式を県内統一様式として活用し、適切な管理につなげていく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>例年20件近くの原因とされる救急搬送事案が発生している。児童生徒の命を守るために、専門医を講師とした研修会を継続して実施していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	